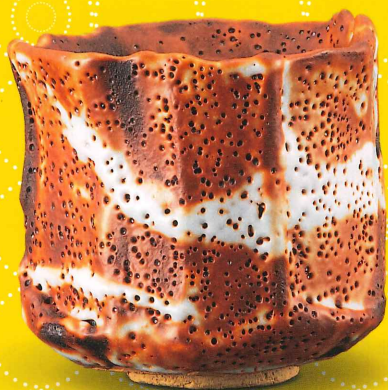


MINO

茶碗

CHAWAN

100+



鈴木藏「志野茶碗」



若尾利貞「志野金彩茶碗」

100+ Selections of Mino Tea Bowls -2024-

- | | | | | | | | | |
|-------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 青木岳文 | 飯村わかな | 尾上彩 | 故金あかり | 酒井博司 | 高木京次郎 | 永井麻紀子 | 日置哲也 | 矢次美穂 |
| 青木益枝 | 五十嵐卓 | 恩田陽子 | 川合正樹 | 阪口浩史 | 崇心 | 永草陽平 | 樋口雅之 | 山口美智江 |
| 青山双溪 | 生嶋花 | 鹿島彩 | 河内啓 | 佐藤朱理 | 高橋生華 | 中嶋徹 | 藤内紗恵子 | 山下幾太郎 |
| 青山鉄郎 | 石川裕信 | 七代 加藤幸兵衛 | 北大路泰嗣 | 柴田育彦 | 高間智子 | 中津雅美 | ぶんのまお | 山下祥 |
| 秋山佳吾 | 伊藤慶二 | 加藤尊也 | 北川和喜 | 柴田正太郎 | 瀧川恵美子 | 中村寿美 | 細川令子 | 山下奈穂 |
| アサ佳 | 伊藤秀人 | 加藤委 | 北野勝之 | 柴田雅光 | 瀧口大喜 | 新里明士 | 堀太一 | 山田晋一朗 |
| 浅野愛民 | 伊村俊見 | 加藤日出 | 木村元 | 島内悠里子 | 竹下努 | 西野希 | 堀俊郎 | 山田英典 |
| 旭守男 | 色原昌希 | 加藤仁香 | 黒岩達大 | 白井紀江 | 田中源 | 服部竜也 | 牧野真由子 | 由良薫子 |
| 東正之 | 氏家昂大 | 加藤浩高 | 小澤順一 | 白石陽一 | 田中美奈子 | 浜田敦士 | 松永圭太 | 吉田可奈 |
| 阿曾藍人 | 打田翠 | 加藤三英 | 五嶋穂波 | 鈴木藏 | 田中佑子 | 林恭助 | 松永泰樹 | 吉田真人 |
| 荒木桃子 | 大江憲一 | 加藤保幸 | 後藤秀樹 | 鈴木都 | 田中陽子 | 林正太郎 | 松本良太 | 吉田喜彦 |
| 安藤工 | 大西佑一 | 加藤裕子 | 駒井正人 | 鈴木伸治 | 玉置保夫 | 林英樹 | 水野雅之 | 吉永ひな野 |
| 安藤千都勢 | 大野繁保 | 加藤裕 | 齋木俊秀 | 鈴木健 | 塚本満 | 林友加 | 宮城暁一 | 若尾経 |
| 安藤日出武 | 尾木卓弥 | 加藤亮太郎 | 斎数真 | 鈴木徹 | 坪井俊憲 | 原憲司 | 宮下将太 | 若尾圭介 |
| 安藤寛泰 | 荻野由梨 | 可児孝之 | 堺克弘 | 須田あゆみ | 寺門志郎 | 原田雅子 | 向井一峰 | 若尾利貞 |
| 安洞雅彦 | 小栗賢悟 | 加納真爾 | 酒井紫羊 | 曾根洋司 | 徳田吉美 | 春田里美 | 森田愛子 | 若尾誠 |
| 安藤友紀 | 小栗寿賀子 | 鴨頭みどり | 酒井智也 | 大道宏美 | 富岡大資 | 伴和憲 | 安田周司 | 和田凌空 |

2024 10.3 木 - 12.22 日

【開館時間】 10:00-17:00 【休館日】 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
【年末年始休館】 2024年12月23日(月)-2025年1月6日(月)

入館無料

MINO

茶碗

100+

2024 10.3 [木] - 12.22 [日]

茶碗ブーム継続中である。特に平成10年代様式の新しい世代の器形・食器に対する新様式希求がその極点たる茶碗に達したことが大いにブームを盛り上げた。もちろんそれが大方の場合「抹茶碗」なのであるが、中国茶器もこの茶碗ブームの中で大いに制作されるようになってきていることは注目すべきである。根本には1993年を境に生じた「土から陶へ」を軸にした表現の再考現象がある。この延長上に「器の現代」思考が実用陶器、鑑賞陶器を問わず生じ、その最先端に、日本文化の蓄積を背景とした、茶碗が位置することになったのである。やはり日本では、ある意味で、器の王者は茶碗であることを再認識させる現象でもある。桃山茶陶の遺伝子の組み換え、全く新しい現代の呼吸そのものの表現、様々な息吹の局面を楽しんでいただければ幸いである。

館長 金子賢治

100+ Selections of Mino Tea Bowls -2024-



若尾誠「粉青瓷茶碗」



林友加「志野茶碗」



新里明士「光碗」



加藤委「川小牧茶盃」



浜田敦士「蟬鳴茶碗」

第30回 陶芸講座

2024年10月5日(土) 13:30-15:00

参加無料(要事前申込)

1部:『現代作家の茶碗について』花里麻理氏(茨城県立陶芸美術館学芸員)

2部:座談会『林友加×新里明士』(聞き手)花里麻理氏

[参加方法]:会場(とうしん学びの丘“エール”) / Zoom(オンライン)



花里麻理



林友加



新里明士

お申込みは
こちらから



[陶芸講座申込方法]:二次元コードからお申込みいただくか、TEL・E-mailにてお申込みください
とうしん学びの丘“エール” → TEL.0572-22-1155 E-mail: yell-kanri@tono-shinkin.jp

美濃焼祭 呈茶会

2024年10月12日(土) 10:00-12:00

参加無料 定員50名
(要事前申込・受付開始 9月1日~)

お申し込みは、とうしん学びの丘“エール”
エール管理課まで
→ TEL.0572-22-1155



ナイトミュージアム 呈茶会

2024年11月16日(土) 17:30-19:30

参加無料 定員50名
(要事前申込・受付開始 10月1日~)

お申し込みは、とうしん学びの丘“エール”
エリア・サポート課まで
→ TEL.0572-25-1152



ART in YELL 2024

国際陶磁器フェスティバル美濃24 協賛催事

2024年10月8日(火)-11月17日(日)

とうしん学びの丘“エール”の1階ロビーにて
10人のアート作品を展示いたします。

[出品作家]

出口俊一 越前谷洸太 大無田拓海

示崎マキ 高田実季 高田裕大

高田恵里 伴和憲 矢島与萌 度會保浩



度會保浩

高田裕大



【電車でのアクセス】

名古屋駅→JR中央線多治見駅下車(快速35分)
→タクシー約10分または東鉄バス(北口)小名田線
「虎溪山」下車(徒歩5分)

【お車でのアクセス】

駐車場:無料(150台)
多治見ICから約10分
「住吉町5」交差点より北へ約1.5km

Instagram

とうしん美濃陶芸美術館
Instagramをご覧ください



*2024年9月30日(月)・10月1日(火)・2日(水)展示入替のため臨時休館 年末年始休館 2024年12月23日(月) - 2025年1月6日(月)

次回企画展情報

とうしんコレクションVI

—所蔵品で見る美濃陶芸の世界—

2025年1月7日(火)-4月6日(日)

美濃陶芸作品永年保存事業で選定した作品を
はじめ、新たに加わった所蔵品を中心としたコレ
クション展を開催いたします。人間国宝から若
手作家まで美濃陶芸の世界をご覧ください。

後藤秀樹「海神」



次回企画展情報

可児陶芸協会 茶陶展2024

2025年1月7日(火)-4月6日(日)

可児陶芸協会作家の茶陶作品
を28点ご紹介いたします。

とうしんコレクションVIと同時開催

左:北大路泰嗣「粉吹茶碗」

右:樋口雅之「志野茶碗」

